

# タマネギ

植え付け作業が速く苗の姿勢がよい「列植え」と、地温を高め、乾燥を防ぎ雑草を抑止する「マルチベッド植え」を紹介します。

板木技術士事務所 板木利隆

## 栽培計画

	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
春まき栽培 (寒冷地)					○	●	●	●					
普通栽培										○	●	●	

○ 種まき ● 植えつけ ● 収穫



## タマネギ苗の上手な植え付け

9月に種まきしたタマネギ苗は、10月下旬から11月が植え付けの適期です。5〜6mm径に太り、葉がしっかりし、根がたくさん付いた苗を選びましょう。最近では3号ポリポットにじかまきし、十数本立てにしたポット苗も出回り始めました。鉢土を外し、根がしっかり付いた状態で植え付けられるので、お買い得です。

タマネギは、真冬に入るまでに十分地中に根を張らせ、春には勢い良く育つようにすることが大切です。そのためには元肥を適切に施し、特にリン酸成分（溶成リン肥や過リン酸石灰を欠かさず）に火山灰土壌では多めに与えておくことが大切です。

根の性質が野菜の中では特異的で、通気性の良さを好まず、乾燥を嫌うので、元肥に堆肥は与えず、植え付けた後は根元を強く鎮圧しておくことが大切です。油かすや魚かすなどにはタネバエが卵を産み付け、幼虫が根元に食い込む被害が出るので、与えないでください。

植え付け方法には、8〜9cmほどの深さの植え溝を55〜60cm間隔で作り、化成肥料と過リン酸石灰などを施して土を掛け、並べて植える列植え方式と、肥料を畑全面

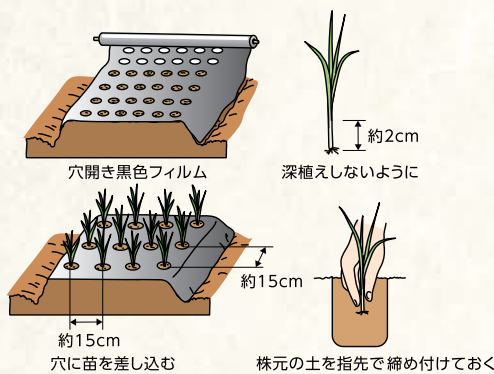
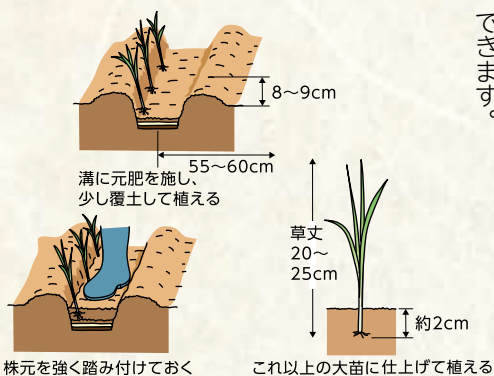
に20cmほど耕し込み、幅90cmほどのベッドを作り、植え穴の間隔が15×15cmぐらいの黒色ポリフィルムを敷き、その穴に苗を押し植えるマルチベッド植えがあります。

### 列植え

列植えは一定の深さに溝を付け、苗を同じ深さにそろえて植えるので、植え付け作業が速く苗の姿勢が良く、株元の踏み付け鎮圧がしやすいです。また生育後期に、列間に後作（インゲンマメ、ラッカセイ、シヨウガなど）を作付けすることにより、畑の高度利用ができます。

### マルチベッド植え

一方のマルチベッド植えは、地温を高め、乾燥を防ぎ、雑草を抑止し、肥料の減量を少なくする効果があります。ただし植え付け、



株元の鎮圧には手間がかかります。

植え付け作業のポイント、苗床から苗を抜き取る時、乾いたら灌水（かんすい）し、苗の大きさをそろえ、できるだけ根を付けて抜き取り、植えるときは根を下方に向けて深く入るよう植え付けます。ベッド植えでは穴開け道具を作り、きちんと植え穴を作り、根を下方に向け深さをそろえて植え、株元を指先で押さえ締め付けておきます。植え付けの深さは根の上に土が2cmほど掛かる程度に。緑葉の部分まで土が掛かるのは深過ぎで、後の育ちが良くありません。

※関東南部以西の平坦な地を基準に記事を作成しています。

## JAグリーン津店が教える！栽培のポイント



JAグリーン津店 城チーフ

穴なしマルチの場合は、500mlペットボトルを横に切って穴あけ器を自作するか、カッターで×印をつけてあけるといいです。多肥や肥料の遅効きは病気や害虫が発生しやすくなり、玉の肥大成熟により貯蔵性が悪くなります。

タマネギは、一定以上の大きさに育ってから寒さに遭うと「とう立ち」する性質があるため、適切な大きさの苗を選ぶことが大切です。

・茎の太さ 5〜7mm  
・草丈 20〜25cm  
・葉が3〜4枚で垂直に伸び、白い根が長く伸びている。

植え付けの際に、苗が大きすぎると内部で分球することがあり、生育が進むにつれてそれが肥大すると、球割れを起こして2つに分かれることがあります。そのため、苗が大きくなりすぎないように種まきの時期を守ることが大切です。

### おすすめ資材

#### 〈マルチ〉

穴あき黒マルチ

#### 〈石灰資材〉

粒状苦土石灰

#### 〈元肥〉

化成24号(8-8-8)

粒状17.5 過磷酸石灰

#### 〈殺菌剤〉

べと病・さび病に効果的

(ジマンダイセン水和剤)

#### 〈殺虫剤〉

ネギアザミウマに効果的

(アディオン乳剤)

